

伝統行事による地域の活性化から発展した 防災に強いまちづくり

活動地域：伏見区 活動時期：平成 27 年 5 月～

大学・団体名：龍谷大学・東高瀬川の環境保護と地蔵盆プロジェクトチーム

活動内容

町内の東高瀬川は、不法投棄が目立つ河川であった。その河岸で実施される地蔵盆は、少子高齢化のため参加者が減少していた。その地蔵盆を盛り上げるため、プログラムの中に学生の企画・運営を取り入れた。同時に、数年前から実施されていた地域住民と地元の高等学校の生徒による河川の環境整備活動（清掃・草刈り）に学生が参加して継続してきた。

さらに、平成 26 年から開始した「竹灯籠」は、地域の恒例イベントとして定着してきた。これらの活動から地域住民の交流がさかんになり、「防災マップ」製作の機運が高まってきた。その際、学生の社会福祉の知識、高校生の工学の観点からのアイデアを生かすことになった。伝統行事の活性化に始まった活動が地域住民の安心・安全をめざして防災に強いまちづくりに結実した。

連携メンバー・役割

- ・川久保町自治会……活動場所の提供、川久保町子供会との取り次ぎ、機材提供、現場調整
- ・地域の方々……地蔵盆の参加、草刈り、清掃活動、学生・高校生メンバーへの各種協力、機材提供、広報活動（『川久保町だより』の回覧）
- ・短期大学の学生……地蔵盆プログラムの企画・運営、草刈り、清掃活動
- ・砂川学区自治連合会、砂川学区東高瀬川を美しくする会……草刈り、清掃活動、地蔵盆の参加
- ・京都市立京都工学院高等学校の生徒……竹灯籠の制作・協力、資材（青竹）の提供、地蔵盆の企画・運営

